

第1回 ふくしま新ステージ有識者懇談会議事録

- 1 日 時 令和元5月7日(火) 午後3時～午後4時55分
- 2 会 場 福島市役所 4階 庁議室兼防災対策室
- 3 出席者 伊藤宏会長、岡野誠委員、菅野孝志委員、菅野廣男委員、木下真理子委員、齋藤美佐委員、高橋満彦委員、高橋理里子委員、高谷理恵子委員、三宅祐子副会長、安田信二委員、渡邊博美委員

4 欠席者 西内みなみ委員

5 内 容

○委嘱状交付

- (1) 委嘱状交付
- (2) 市長あいさつ
- (3) 委員紹介

○講 演

テーマ いっしょにやる、ということ

～今、なぜ「対話」を活かした市民参画が求められているのか～

講 師 総合計画市民参画アドバイザー 加留部 貴行氏

(九州大学大学院 統合新領域学府 客員准教授)

○第1回懇談会(司会:政策調整課長)

(1) 開会

(2) 会長及び副会長選出

会長に伊藤宏委員、副会長に三宅祐子委員を選出。

(3) 議事(議長:伊藤会長)

議 長 設置要綱第9条の規定により、要綱に定めるもののほか、懇談会の運営に関し必要な事項は、会長が別に定めることとなっておりますので、お手元にお配りしてある「ふくしま新ステージ有識者懇談会運営要領(案)」により懇談会を行っていきたいと思いますが、皆様よろしいでしょうか?

(異議なし)

異議なしのため、運営要領の1に記載のとおり、懇談会は原則として公開により行うものとし、また、運営要領の2に記載のとおり、議事録を作成し、委員の皆様にご確認していただいた上で、市のホームページ上で公表することといたしますので、ご了承願います。

① 第6次福島市総合計画の構成と懇談会の役割等について

議 長 事務局に説明を求める。

事 務 局 資料により説明。(ふくしま新ステージ有識者懇談会【第1回】(パワーポイント) P1～P11、福島市総合計画後期基本計画P24～P25、「実・湧・満・彩 福島市」ふくしまを元気に！新ステージへ、平成31年度予算の概要P2)

議 長 ただいまの件について、ご質問・ご意見ございませんか。

委 員 2016年～2020年までの総合計画の総括は、どの時点で、どのように行われるのか。

議 長 前の総合計画の進捗状況はどうなっているのか、その部分がないと次の計画とはならない。今すぐにどうなったということではないが、次回、今動いている総合計画の進捗はどうなったとか、いろいろな分野があるが、上手くいったところ、そうでなかったところ等の説明をしていただいて、それを踏まえて次の総合計画に繋げるほうがいい。

事 務 局 現計画については、5年間のうち、3年間分の結果が出ている。こちらについては、今年度の会議の際に説明をさせていただきたい。

また、4年目の検証結果についても、来年度の会議の際に説明をさせていただきたいと思う。

事 務 局 総合計画のなかで進捗状況を示す指標を設けている。その3年目の結果の見込みが出るため、それに基づいて、現計画の進捗状況について説明をさせていただきたいと思う。全体的に指標で押さえきれない部分もあるので、それらについては具体的な数字を示すことはできないかもしれないが、何らかの話はさせていただきたいと考えている。

市 長 インプット指標はすぐに分かるが、アウトカム指標・アウトプット指標は聞かないと分からない。こちらがどれだけ投入したかに関しては早めに説明できる。

② 今後の進め方について

議 長 事務局に説明を求める。

事務局 資料により説明。(ふくしま新ステージ有識者懇談会【第1回】(パワーポイント) P12～P14)

議 長 ただいまの件について、ご質問・ご意見ございませんか。

委 員 3点申し上げる。1点目は、P12に「福島市の未来の新聞を作ろう」とあるが、新聞社には新聞作りのノウハウもあるので、役立つことがあれば、ぜひ事前に声を掛けていただければと思う。

2点目は、この懇談会の検討のなかで、総合計画とリンクする将来の財政見通しを示していただいて、施策の裏付けがどういうふうになっていく見通しなのか、ある段階で説明していただきたい。

3点目は、次回以降の資料においても、なるべく西暦と和暦を併記していただきたい。

議 長 その他ございませんか。

委 員 6月28日までに委員の意見を求めるという資料があるが、意見を提出するにあたり、後期基本計画の現状だとか、市民アンケートの説明を受けた後に意見を集めていただいたほうが、無駄がないと思う。意見書を出した後に情報をいただく流れになっているため、意見書の出すタイミングをずらしていただけないか、検討していただければと思う。

議 長 P12に記載のとおり、今日も含めて4回の会議で何か提言を出すのは無理な話であるが、それを何とかやろうとするものであり、間の時間を上手く使ってということである。2回目の会議が終わってからの意見だと時間的に厳しいということもあり、1回目の会議の後にそれぞれの立場から意見をいただければと思う。

今の話もよく分かるので、こういったことでどうか。今日の時点でそれぞれの立場からこういうことを提言に盛り込んでほしいとか、こういう意見がありますよということを出せる方には出していただく。2回目の会議を待ち、知識を得ないと意見を出すのが難しい方は、2回目の会議の後でいいこととする。ただ、1回目のほうは、6月28日くらいまでに意見を出していただくこととする。こういったことでよろしいでしょうか。

(異議なし)

事務局 ぜひそういったことでお願いできればと思う。

議長 そういうことで、こういったスケジュールで進めさせていただきたいと思います。他はいかがでしょうか。

議長 専門の分野をお持ちの方が多い。それぞれの立場から話をするということだけではなく、大所高所からの意見を伺うということになっているが、取りあえずは、それぞれの立場からの意見をベースにしながら、皆さんの意見が出た後で、全体的な調整が出来ればと思っている。

その他にも一つ、市の財政も豊かではなく大変ということは皆さんご存知のことだと思う。総合計画は総花的になりがちであり、お金が潤沢であれば全部できるが、必ずしもそうではない。重点項目、プライオリティ等も一定程度意識しないと行けない。いいことを全部並べても、全部が中途半端になってしまうことも困るので、皆さんからいただいた意見のなかでも、“今の福島ではこのくらいだね。”というような部分もメリハリをつけてやっていかないと行けないと思う。

市長 財政的な面については、現時点での試算があるので、それをお示しさせていただきたい。今回のプロセスにあたっては、財政的な部分を意識した運営にさせていただいている。Yu-Me（ゆめ）会議について申し上げますと、単に夢を語るということであれば語ることができるが、言ったことはいいが何にもならないと失望させてしまう。大事なのは、この過程で夢も語るが、みんなの合意を作り上げることである。Yu-Me（ゆめ）会議の3回目は、「選択の時代を学び未来を語る」ということで、ある意味、市民の皆さんにも、お金との関係でいったいどうするのかということを経験していただく。

また、今までやったことはないことだが、今回の市民アンケートでは、サービスを向上させたいのであれば、負担をどうするのか等の選択を求めた。この会議でも、サービス向上のために負担を求めるのか、できる限りの負担をしてサービスを落とすのか、先程議長がおっしゃっていた重点化をするのか、我々もできる限りのことをやりたいが、やるとなれば、そのためにどうやって財源を捻出するのか、内部改革をするのか、これらは課題としてわきまえており、その点についても市政への注文として出していただけたらと思う。

日程に関しては、会議が4回となっているが、皆さんの状況に応じて、柔軟に対応させていただければと思う。

議長 他いかがでしょうか。次の会議に向けての注文や要望でも結構です。

議長 市長が内部改革といういいことをおっしゃった。同じ財源でも、それをいかに効果的・効率的に使うという問題が側面にある。それについても我々が提言できればと思う。

議長 どなたかご意見ございませんか。

委員 福島市のごみの問題は、分別も含めて極めて緩い。他の地域は、細かく分類して、コストダウンに努めているように思う。福島市は、市民が負担、参画していくというレベルが全体として低すぎるという気がするが、どうなのか。

市長 市民がいろいろな面で協働して働くという点では、今回も自治振の会長に出てきていただいているが、地域活動は熱心だと感じている。

一方で、他市との比較でいうと、ごみにしても無料、今回有料化した斎場にしても無料だった。市民負担がないように運営されてきたのが、これまでの福島市ではないかと思っている。だからといって、有料化するのがいいという訳ではない。無料にするということは、別の財源を使って無料にしている。そのことを皆さんにも分かってほしい。その場合、何に役所のお金を使うことがいいのかということ、これからみんな考える選択をしてほしい。

ごみについて言うと、有料の話だけではなく、ごみの専門的な会にいろいろと検討をお願いし、令和3年度までに目標値までごみ削減が出来なければ有料化するという方向性が提言されている。有料化すること自体が目的ではないので、それまでに目標達成を目指して、徹底してごみ減量をするという大作戦を展開していくということにしている。そのなかでは、分別の細分化を検討材料に挙げてやっていきたいと思う。

議長 他いかがでしょうか。

委員 これからの進め方にもなるかとも思うが、今回の場合、委嘱状をいただいてからの審議になるため、致し方がないが、事前に資料をいただけていたら、今日の全体の会議が終わった後に、スムーズに皆さんから色々な意見が出たのではと思う。これからそういう場面があるかは分からないが、今後、ご配慮いただけたらありがたい。

事務局 次回以降については、事前に資料を送付させていただきたいと思う。

委員 配布された資料を持ち帰り、読んで、何らかの意見を出すということが、この会議の基本的な流れになるのか。

議長 全ての委員の方に、何らかの形で意見を出していただくということは想定していない。それぞれの立場で今日の話聞いた上で、ここは言っておきたいということがあれば、まずは言っておいただくということである。

(4) その他

事務局 第2回懇談会の日程について説明。

- ・日 時 令和元年8月22日(木) 午後1時30分～
- ・会 場 福島市役所 4階 庁議室兼防災対策室

次回懇談会の議論を効率的に行うために、事前に委員から意見を頂戴したい旨を説明。本日の懇談会の内容を踏まえ、「将来に向けてどのようなまちを目指すべきか」をテーマとした意見書を6月28日(金)までに事務局宛て送付するよう依頼。また、頂いた意見については、事務局で取りまとめの上、委員と情報共有する旨を説明。

(5) 閉会